

「ふふん…♡」  
（うーむ、改めてみると俺の胸デカいなあ…  
やっぱり母ちゃんの娘なんだなあ）

「太一はこのオッパイで悩殺されちゃったのかあ…♡  
参ったなあ…♪」

（ついでに可愛い表情も練習しないと…!）

俺は鏡に向かって表情を□□□□変えてみる



「えへ…♡」

ウィンクをぱちりと決める



「うーん、どれが太一の好みなんだろう…？」

（あんまりセクシーすぎると太一が

狼さんになっちゃうかな？

なんちゃって…♡、うーん女の子するのも楽しいかもしれない…）

俺は時が経つのも忘れて可愛い角度を探していた



(いや、こっちの角度の方が可愛いかな...?)

「ちよっとー夏姫、  
あんたまだ着替え終わらないのー?」



「わあ……か、母ちゃん……!?!」  
(ポーズ決めてるところ見られちゃった……!)

「あら、お邪魔しちゃったかしら……♪」

